



発行責任者
校長 猪股 英介

【校長室より】

『「無理」と思うのか、「実現するにはどうすればいいのか」と考えるのか』

8月22日 授業再開日の全校集会（オンライン）における校長訓話の一部を紹介します。

1学期の終業式に大リーグ、エンジェルスの大谷将平選手の話をしました。その大谷選手が、今シーズン、メジャーリーグ104年ぶりとなる2桁勝利、2桁ホームランを達成しました。これは、野球の神様と言われるベーブルースが1918年に達成して以来、2人目の快挙です。本当にすごい一言です。今後もまだまだ快記録が期待できそうです。

野球の話が続けますが、今日は高校野球の決勝戦です。仙台育英高校と下関国際高校、どちらが勝っても初優勝です。その決勝に勝ち上がった下関国際高校は、前評判は高くありませんでした。しかし、準々決勝で春の選抜で優勝した大阪桐蔭高校に逆転で勝利し勢いにのると、準決勝では春の選抜で準優勝した近江高校（滋賀県代表）にも勝利しました。翌日の新聞には、「大波乱」や「弱者が強者を撃破」などの文字が踊りました。

下関国際高校は、1学年120名の小規模の私立高校です。現在の坂原監督が就任した当時の野球部は、荒れ放題で部員数わずか5名の時期もあったそうですが、「甲子園出場」を目標に掲げ、日本一厳しい練習を課したそうです。そして、監督就任12年目に初めて甲子園出場を果たし、それからは他県からも生徒が集まるようになり、4年前の大会でベスト8と着実に力をつけていきました。そこから、次の目標を「甲子園ベスト4以上」と定め、その実現に向けてさらに練習を重ねて、今大会に臨んでいることがわかりました。ですから、今回決勝に勝ち上がったのは、決して奇跡とかではないのです。

下関国際高校を始めとする甲子園に出場した高校も、大谷選手にも共通する点があると思います。それは明確な目標を持ち、実現するには何が必要かを考え、具体的に行動、練習している点です。そこには、「無理」とか「できない」という妥協は一切なく、「実現するにはどうすればいいのか」ということだけを考えています。だから、夢が叶うし、目標が達成できるんだと思います。

私は、五高の生徒は、多くの可能性に満ち溢れていると思っています。まだまだ伸びる余力を持っていると信じています。自分で「無理」「できない」と思い込んで、壁を作っている人はいないでしょうか。

長崎大学 「合格、無理」と思うのか、「合格するにはどうすればいいのか」と考えるのか。

インターハイ「出場、無理」と思うのか、「出場するにはどうすればいいのか」と考えるのか。

数学 「絶対、無理」と思うのか、「どうやったら解けるようになるのか」と考えるのか。

人生は考え方ひとつ。そしてその考え方が行動となり、生き方となり、あなたそのものになってきます。今日は、「無理」「できない」と考えるのではなく、「実現するにはどうすればいいのか考える」ことが大切であるという話をしました。

今日から、2学期が始まります。2学期は一年の中で最も長い日数があるだけでなく、それぞれの学年にとって、重要な意味のある期間です。皆さん一人ひとりが、自分の夢、目標を再確認し、その実現に向けて最大限の努力をしてください。同時に体育祭、五高祭の準備も本格化します。限られた時間の中ですが、お互いに知恵を出し合い、協力しながら、思い出に残る「体育祭」「五高祭」になることを期待します。

夏季集中学習会

3年生夏季集中学習会

第3学年主任 辻 忠

8月1日(月)～5日(金)、5日間の日程で3年生は夏季集中学習会を実施しました。集中学習会に参加する生徒たちは、背中に学年スローガン「突破!」とプリントされた青いTシャツを着て、120分×5コマ1日10時間の学習に取り組みました。そして、今回の学習会のスローガン「限界突破!」を自学会場前方に掲げ、各々が己を限界まで追い込む学習に挑戦しました。最初は、不安を感じていた生徒も、学習会が進んでいく中で「分かった!できた!」「楽しくなってきた」「もっと学習会を続けたい」という思いに変わり、学習に対するこれまでの意識を「突破!」することができたのではないかと思います。体調を崩す生徒もほとんどなく、学習会のルールをよく守り、生徒一人ひとりの成長が感じられる機会となりました。

この学習会の成果を3つあげます。

1つ目は、長時間の学習を集中して取り組めるようになったこと。周囲に惑わされない集中力は、受験本番で平常心に変わり、しっかりと実力を発揮できるはずです。

2つ目は、生徒たちが教科の質問を数多くしたこと。質問して理解した内容は、この後も長く記憶に残ります。また、生徒が質問をしたことで、私たち教員も生徒の理解度を確認することができます。質問は双方にメリットがあるので。

3つ目は、生徒は、仲間、教員、保護者の皆様方に支えられてこの学習会を成功させることができたという感謝の気持ちが生まれたこと。このことから、感謝されるように他者へ配慮や支援をすることの大切さ、重要性を知るきっかけになると思います。常に変化し続ける社会で生き抜く資質が、受験という試練を通して今まさに身に付いていると確信しています。私たち教員は、これからも生徒それぞれが様々な困難に立ち向かい「突破!」できるように支援し続けていきたいと考えています。

平和学習

令和4年8月9日、長崎の原爆の日に平和学習がリモートで行われました。今年度は、核兵器に対する日本の見方と世界の見方と題し、核兵器が日本以外の国でどのようなとらえ方をされているかを学び、それらを踏まえて、海外の特に若い人々に原爆の恐ろしさを伝えるには何をどのように伝えるかについて考えました。今回の学習を通して、生徒たちからは「原爆のありのままの被害をSNSを通して発信していくべき」「世界に発信する前に日本国民一人一人が原爆についてもっと知るべき」といった様々な意見が出ました。さらに黙祷の後、令和4年度の長崎市平和宣言を視聴し、平和を尊ぶ気持ちを新たなものとしました。

体育祭、五高祭について

今年も体育祭・五高祭でPTAバザーを実施します!

・体育祭(9月4日) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本校在校生および職員以外の来場者を、3年生の関係者(保護者等)に限定します(参観券が必要です)。

○飲料バザー(9:00～12:30)・・・会場で冷たいドリンクを1本120円で販売(お得です!)

・五高祭(9月11日) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本校在校生および職員以外の来場者を、体育館への入場に関しては、文化部所属の1、2年生と五高祭実行委員の関係者(保護者)に限定します(参観券が必要です)。ただし、体育館以外の展示会場やバザーに関しては制限はありません(参観券も不要です)。

○リサイクルバザー(9:45～15:00)・・・先日、みなさんから提供いただいたもの。お楽しみに!

○飲料バザー(9:00～15:00)・・・冷たいドリンク1本120円

○食物バザー(11:00～13:30)・・・パンを来場者に向けて販売

売り上げはPTAの生徒支援活動費になります。皆様のご来場をお待ちしております。

※時間・内容は変更の可能性もあります。ご了承ください。

部活動報告



吹奏楽コンクール(吹奏楽部)

私たち吹奏楽部は、7月23日、24日に開催された、第67回長崎県吹奏楽コンクールに出場しました。今年は部員16名で、課題曲Ⅰ「やまがたふあんたじい～吹奏楽のための～」と自由曲『繚乱～能「桜川」の物語によるラブソディ』を演奏しました。今年は3年生の力を存分に発揮できる曲を選び、部員一丸となって曲と正面から向き合ってきました。本番では、この旋律は何を表しているのかなど、曲の解釈を感じながら演奏することができました。結果は惜しくも銀賞でしたが、演奏後にはたくさんの方にお褒めの言葉をいただくことができました。引退した先輩たちの思いを背負い、さらに人を感動させる演奏ができるようなバンドになれるよう頑張る練習に励みたいと思います。これまでたくさんの応援をいただきありがとうございました。

全国総文祭(百人一首かるた部)

7月31日(日)から8月2日(火)にかけて東京都で開催された「第46回全国高等学校総合文化祭【小倉百人一首かるた部門大会】」に、本校の百人一首かるた部から3名の生徒が出場しました。

海星高校、長崎北高校と合同チームを組み、7名での団体戦に挑みました。新型コロナウイルス感染防止のため、掛け声や声援等はできませんでしたが、試合ができる喜びを噛みしめながら、最後まで全力で戦い抜きました。惜しくも予選リーグ敗退となりましたが、各県代表のハイレベルな選手と戦い、他校の部員との交流を深め、良い刺激をもらうことができました。本大会での学びを生かし、10月16日に行われる県大会(九州高等学校総合文化祭予選)に向けて、練習に励んでいきます。今後とも百人一首かるた部の応援をよろしくお願いします。



全国総文祭(新聞部)

8月1日(月)から3日(水)にかけて東京都で開催された「第46回全国高等学校総合文化祭【新聞部門】」に、本校の新聞部から2名が参加しました。

東京都内を、テーマ別に分けられた11のコースのいずれかを巡り、各地で取材し新聞にまとめるというもので、本校生徒は江東区と江戸川区のそれぞれ「江戸末期の暮らしと東京の庭園」、「江戸川区の伝統工芸品と現代の都市農業」に参加しました。コースの班員は全国から集まった高校生で、初対面にもかかわらず、すぐに打ち解け新聞作成のために活発に意見交換する様子が見られました。普段はなかなか他校との交流もないため、今回の全国総文祭は大きな刺激を受ける機会となり、今後の「五高新聞」に大いに役立ついい経験となりました。

インターハイ出場(柔道部)

8月6日(土)から10日(水)の5日間愛媛県で開催された「令和4年度全国高等学校総合体育大会柔道競技」に本校の3年生、里道裕くんが個人-73kg級に出場しました。試合は、2回戦と3回戦を一本勝ちで勝利し、準々決勝戦にコマを進めましたが残念ながら惜敗いたしました。しかし、全国大会5位入賞を勝ち取ることができました。日本一を目標に頑張ってきましたので、悔しい気持ちはありますが、全国入賞できたことを自信に変え、一步一步前進していきたいと思っております。応援ありがとうございました。

インターハイに参加して(陸上部)

8月3日から8月7日までの5日間、徳島県鳴門市で行われたインターハイに参加しました。試合では4人全員が持てる力を出し切りましたが、全国の舞台でベストパフォーマンスを発揮することは難しく、目標とする結果には届きませんでした。出場者の中には今後も競技を続ける3年生や、2年生もおり、それぞれが今後につながる貴重な経験をすることができました。陸上部として更なる高い意識で練習に臨み、来年も多くの選手がこの舞台に立てるように日々の練習を頑張りたいと思っております。出場にあたり多くのご支援や応援をいただきありがとうございました。

